You'll
Never
Walk
Alone

大島社協
災害ボランティア
センター　からのお知らせ

かわら版　№009
（平成 26 年 1 月 27 日）

　みなさん、こんにちは。大島社協災害ボランティアセンターです。
　センターは、今後、被災された方々の生活支援を主軸に活動を行うにあたり、２月１日付にてセンターの名称を「大島社協ボランティアセンター」と改称いたします。
　今後とも引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

２月１日より

大島社協ボランティアセンター

に改称します

応急仮設住宅へのお引越しについてご相談ください！

　ボランティアの協力を得て、町役場との連携の元、応急仮設住宅へのお引越しのお手伝いをいたします。次のようなことがございましたら、ぜひご相談ください。

○お荷物を運び出す、運び入れるのに人手が足りない。
○身体が不自由で荷物を持てない。
○重い物が持てず困っている。

※次のようなお困り事については町役場が対応します。
・荷物を入れるダンボールがない、足りない（無償で配布します）
・荷物を積み込む車がない。（町役場が用意します）

お引越しの３日前までにご相談ください

　お手伝いするボランティアの募集の関係上、ご相談のお受け付けの期限をお引越しをご予定されている日の３日前までとさせていただきます。ご了承ください。（土日・祝祭日はご相談窓口がお休みですので余裕を持ってご連絡ください。お引っ越しのお手伝いはご要望に応じて土日もご対応いたします。）

大島社協災害ボランティアセンター

（2/1から大島社協ボランティアセンターに）

2-3773

開所時間 / 8：30〜17：15
土日・祝祭日は休み

社会福祉法人　大島社会福祉協議会　大島社協 災害ボランティアセンター
100-0101 東京都大島町元町２－１－４　TEL　04992-2-3773
公式サイト＝http://oshima.vc/　公式Facebook ＝https://www.facebook.com/oshima.saigaivc

仮設のトリセツ ～心得編～

全国どこの被災地でも活用できるように作られた仮設住宅は、大島の環境にばっちり対応したものではないことが多いです。仮設住宅を住みやすくするには、ちょっとした工夫をすると良いかもしれません。

「仮設のトリセツ」は中越地震の際に仮設住宅にお住まいになった方々から様々な知恵と工夫を教わり、それをまとめた「仮設住宅の取扱説明書」です。中越の先人たちの「仮設の知恵」は、きっと皆さまの参考になる点も多いと思いますのでご紹介させていただきます。
今回は、仮設住宅にお住まいになった先人の「心得」をお伝えします。

心得１　仮であれ楽しい我が家へ

仮設住宅は期間限定の仮の住まいですが、災害から立ち直っていくための気力・体力を養う大事な環境です。「どうせ出て行くから」と思わず、少しでも住まいの環境を整えましょう。

心得２　少しの工夫で愛着 100 倍

ちょっとした工夫やきっかけが、仮住まいを少し快適にし、明日への活力を生んでくれます。

心得３　ご近所の知恵を結集

限られた期間で充実した工夫を行うためには、みんなの知恵を共有することが肝心です。
ご近所でアイディアを共有しましょう。道具を貸し借りするのもいいでしょう。

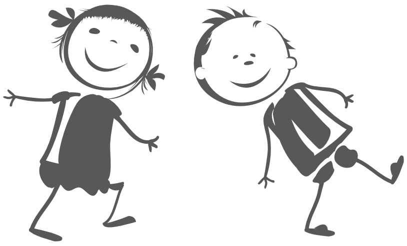
心得４　仮設団地はみんなの家

仮設住宅に閉じこもらずに住宅のまわりを上手く活用しましょう。集会所はもちろんですが、通路にイスを置くだけで団らんの和が広がります。

（「仮設のトリセツ」より転載）

今後、「仮設のトリセツ」より具体的な方法をご紹介します。
（ご興味のある方には、「仮設のトリセツ」の冊子もお渡しいたしますのでご相談ください。）

住民交流会
あいべぇ



大島社会福祉協議会では、この地域のみなさまが少しでも「ゆっくり、そしてホッとできる」場所になるよう、住民交流会「あいべぇ」を開催しています。喫茶コーナーやマッサージコーナーもありますので、みなさまぜひお越しください。お待ちしております。

日　時：毎週木曜日　13時～15時

場　所：「くぼいち」さんの店舗内

内　容：喫茶コーナー
マッサージコーナー
足湯コーナー　等

大島社会福祉協議会
2-3773
担当／　白井・今津